



竜宮小僧にふんした女性(右)の読み聞かせに聞き入る園児
=浜松市南区の平和こども園

浜松市北区引佐町周辺に伝わる人助けの妖精“竜宮小僧”が27日、『竜宮小僧』を題とした紙芝居を園児に読み聞かせ、利他訪れた。竜宮小僧の伝説を描いた紙芝居を園

児に読み聞かせ、利他の精神の大切さを伝えた。

竜宮小僧にふんした女性(右)の読み聞かせに聞き入る園児
=浜松市南区の平和こども園
の女性職員。遠州綿紬(つむぎ)の衣装で登場し、紙芝居を読んだ。

竜宮小僧が人知れず人助け、死後も同町の「久留女木の棚田」の水源となつて人々に恩恵を与えていた。この内容に、園児約55人が聞き入った。“竜宮小僧”は「みんなも困っているお友達いたら助けてあげて」と呼び掛けた。

岡文化芸術大が展開する「竜宮小僧プロジェクト」の一環。見返りを求めず、困っている人に手を差し伸べる竜

“竜宮小僧”読み聞かせ

南区のこども園 紙芝居で精神伝える

宮小僧にあやかり、市民に利他的行動を促している。
(浜松総局・鈴木侑季)

